



地にひそむ生命を腕に

令和7年度 佐伯市立昭和中学校 学校通信

NO.08
令和7年12月12日
文責:校長 川野 匡



昭和フェスタ!

お知らせが、すっかり遅くなってしまいましたが、今年の昭和フェスタは、「文化の部」10月24日(金)午前、「スポーツの部」25日(土)午前に多数の保護者、地域の皆様にご来場いただき、大盛況の中実施できました。

「文化の部」は、各クラスからの趣向を凝らしたメッセージ動画と生徒会役員によるほのぼのとした動画からスタートです。

開会式のあとは、英語弁論でした。2人の3年生が、いずれも身振りを加え、実感のこもった弁論を発表してくれました。

次に各学年の総合的な学習の時間の発表です。どの学年も、時間をかけて学んだことをわかりやすく、楽しく伝えてくれました。

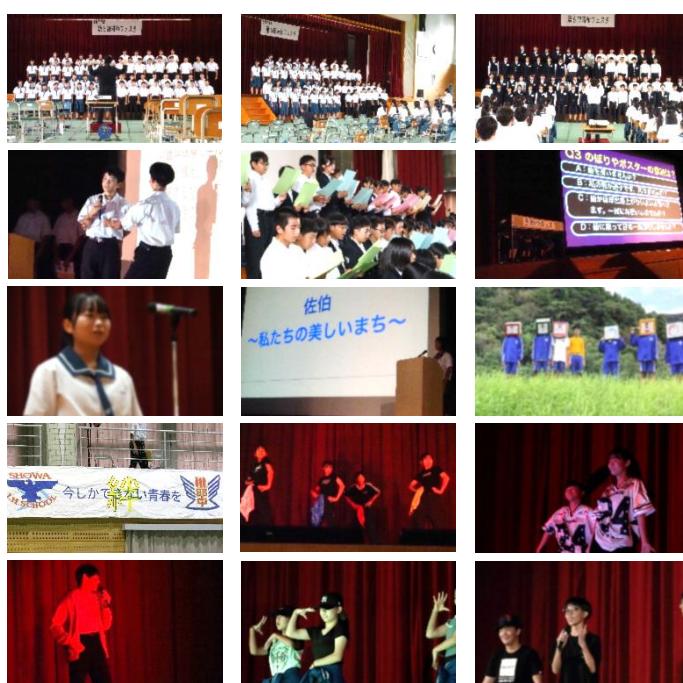
そして、有志によるステージパフォーマンスです。今年はダンス4チーム、歌1人、太鼓1団体で会場を盛り上げてくれました。

休憩の後は、待ちに待った合唱コンクールです。各クラスがこれまで担任とともに練習を重ね、磨き上げてきた歌声を披露しました。今年度の最優秀賞は3年1組。優秀賞は1年3組と2年2組でした。とはいっても、どのクラスも甲乙つけがたいすばらしい歌声でした。

各学年合唱では、3年生が、聴く者の胸をゆさぶる圧巻の合唱を聴かせてくれました。最後は全校合唱で、全校が1つになりました。

「スポーツの部」は、小雨の中での決行でした。

全員による短距離走。3年生好例の呼名パフォーマンスと、他の生徒からの反応が、昭和中らしくてほっこりしました。



学級対抗リレーは、走っている生徒の真剣な表情と、学級旗をもって声を限りに応援し続ける担任の姿が見せ所でした。

学年団体、1年はバランスボールを、2年は抱えるぐらいの箱をリレー形式で運ぶというもの。いずれも練習を重ねるほどにどんどん速くなり、とうとう当日は、どのクラスもほとんどミスなく運びあげました。3年は伝統の棒引きです。今年も熱い戦いが見られました。

昨年からはじまった休憩時間の保護者競技、今年は玉入れでした。昭和中PTA保育部と理事の皆さんとの協力で短時間に楽しくできたのではないかと思っています。

最後は、全校生徒による学年対抗の「台風」です。毎年の競技で、積み重ねがある3年生が有利と思いきや、今年は、事前の練習で1年生が勝ったり、また別の日には途中まで2年生がリードしたりと、どの学年が勝ってもおかしくないという珍しい年になりました。そして迎えた本番。落ち着いて大竹をつないだ3年生が優勝し、大団円を迎えました。

河野実行委員長、福泉副実行委員長、佐倉スポーツの部実行委員長、岩崎文化の部実行委員長だけでなく、実行委員会、合唱の係、スポーツの部の各係など様々な係活動が支え合って、この日を目指しました。どの生徒もなにかしらの係になり、あるときは他の生徒のお世話をし、あるときはお世話をされる。そんな中で、本校1番大きな行事をやりとげる。その一つ一つの関わりあいの瞬間がとても尊いと感じます。

支え、励ましていただいた保護者、地域の皆様に改めて感謝申し上げます。